

みつくら

令和 7年 6月15日 第436号
発行 大瀬川活性化会議
編集 「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

八区1班に千田さんが転居

八区1班に今年の2月、千田拓人(たくと)さん、和(のどか)さん家族が転居してきた。住まいは旧森子家の跡地で、6月8日に行われた大瀬川地区民運動会の応援席で、菅原昭悦区長さんから皆さんに紹介された。

大瀬川で熊の目撃が相次ぐ

●5月22日午前10時5分に菅原浩孝さんが車で通行中、自宅南側の市道旧大瀬川線の路上で熊を見つけ、クラクションを鳴らしたところ自宅の屋敷に侵入。その後、熊は自宅の後ろを走り去った。同じ時刻に菅原洋二さんが板垣匡俊さん宅付近から田植え後の水田を走って「やまなし園」に入っていく熊を目撃した。早速、石鳥谷総合支所へ通報したところ「この近くに熊が出没しました。注意してください」と広報車で呼びかけがあった。菅原さんの話によると熊の大きさは1m以上の成獣であったという。目撃した菅原浩孝さんは「大ききからして3歳ぐらいではないか」と言っていた。

●5月25日午前6時30分頃、田んぼの水を見回っていた九区の藤原洋子さんが熊谷良悦さん宅方面に歩いている熊を目撃。そこへ藤原美輝さんが通りかかり、すぐに110番通報した。しかし、その後の足取りはわからず、市は広報車で注意を呼びかけた。

●5月29日午前6時40分頃、板垣博文さんが家の南側で農作業中に熊谷恭一さん宅付近を歩いている熊を発見し、恭一さんに連絡した。恭一さんも熊を目撃したが熊は東に走って行きそのまま見失ってしまった。これも直ぐに石鳥谷総合支所へ通報し、市は広報車で注意を呼びかけた。その日の夕方、恭一さんが家の西側にある麦畑に熊の足跡を発見し、再度市役所と猟友会が来て足跡を測ったところ22.5cmで、成獣ではないかとのこと。注意するよう熊避けの花火を渡された。

LINEによる花巻市の熊出没情報では、市内あちこちに熊が出没しており、6月9日の朝現在で317件の情報が寄せられている。日中も堂々と徘徊しているので、草刈り等を行

って茂みを少なくしたり、残飯や米ぬかなどは置かない、小屋等の入り口は閉めておくなど対策が必要と思われる。

下大瀬川美土里の会 1回目の草刈が行われる

下大瀬川美土里の会(熊谷俊彦代表)では5月31日、37名が参加して1回目の草刈り作業を実施した。週末のたびに天気が悪く、前日も風雨が強く草刈り作業は延期かと心配されていたが、集合時間には天候も回復した。

今回は自作地ではなく、市道と幹線道路の草刈り作業を行い、終了後に葉師堂川の菅原新一郎さん東側の橋から花北青雲高校西側まで川の北側の草刈りを午前中いっぱいかけみんで行った。鴨の巣に気付かず、急に鴨が飛び立ちビククリする場面もあった。最近には特に熊の目撃情報が多く、川沿いの草などは獣が身を隠すのに都合が良いとされるため、草刈りによって見晴らしが良くなることで獣害の危険を回避することにも繋がる。この会では、今年には有害鳥獣対策を考慮して葛丸川河川敷を含み7回の草刈りを予定している。

運動会前に環境整備を実施

大瀬川運動公園と周辺の1回目の環境整備が地区民運動会を控えた5月31日に7区32人の方々の協力をいただき行われた。振興センター駐車場周辺や県道沿いの歩道、グラウンド東側は草丈が腰の辺りまで伸びていた。女性陣は草取りを、男性陣は草刈り機で駐車場やグラウンドの法面、駐車場北側のチェーン着脱場脇の2メートル近く低い斜面も綺麗に刈り、刈り取った草を次々軽トラックに乗せて、延べ10台以上で捨て場所へ運んだ。7時のチャイムで作業を終了し、グラウンドと改善センターの東側は時間の関係で刈り倒しただけとなった。

7区自治公民館が花植えをする

6月1日に第7区自治公民館(菅原清孝館長)では「環境整備事業」として、ふれあい花壇(2箇所)の花植え、公民館敷地内の草取り・草刈り作業を行った。前日と当日は雨の予報だったが幸い雨も降らず曇り空の下で今年の当番、2班の方々と役員16名でアゲラタム青紫色100本、マリーゴールド黄色100本、マリーゴールド橙色100本、ベゴニア桃紅色100本、ベゴニア白色100本の計500本を植栽した。

前日に館長、主事、会計の3人でマルチを張って穴をあけていたので、手際よく植栽できた。最後は、花壇の前で記念写真を撮り整備事業を終了した。

事業満載の一日

第九区自治公民館(菅原邦典館長)は、6月1日に4つの事業を実施した。午前中は大瀬川橋から松林寺橋までの河川法面や管理用道路の草刈りと、今年から花巻土木センターから委託された富沢橋から松林寺橋までの河川敷の草刈り作業を行った。河川道路の草刈りは予め菅原館長が機械で行っており、当日は富沢橋から1班と2班が、松林寺橋からは3班が草刈り作

を行った。作業中、草丈が高い場所や木の切株があったが、役員から予め注意喚起があり事故もなく終了して現地解散した。これで熊やイノシシの緩衝帯ができ、有害鳥獣対策にも効果があると思われる。

これと並行して公民館敷地内の花壇では花植え作業が行われ、女性と役員ら45名でアゲラタムやサルビアなど6種類、310本を植えた。また、リサイクル事業としてアルミ缶とスチール缶の回収も同時に行われた。北風が強く集めた空き缶が田んぼに飛ばされるハプニングもあり、回収場所が変更される一幕もあった。

午後3時から33名が参加し、「さなぶり」が行われた。菅原邦典館長から「まずは、新たに増えた葛丸川河川敷の草刈りが皆さんの協力で事故もなく、思ったよりも早く終了でき有難うございました。これで、有害鳥獣対策の緩衝帯になればと期待しています。また、今年の春は雨が多かったですが無事田植えもほぼ終え、秋の実りを願いながら、今日のさなぶりを役員を含め企画致しましたのでひとときを楽しんで下さい」と挨拶があり宴に入った。さまざま馳走が並び、集まった人たちはお互いの労をねぎらいながら「さなぶり」を祝っていた。最後に、熊谷幸夫第一老人クラブ会長の締めで終了となり、夕日の中家路についた。

花巻市の水防演習に参加

6月1日に花巻消防団第13分団1部と2部より6名が、6年ぶりとなる北上川上流花巻地区合同水防演習に参加した。場所は北上川右岸の朝日橋下流河川敷で、同市消防団200人と遠野市消防団40人で3中隊を編成して、シート張り工法、Tマット工法、月の輪工法、土のう作成搬送訓練、積み土のう工法にそれぞれ取り組んだ。当地区からは、畠山勝敏分団長、板垣章郎副分団長、畠山智明部長、板垣雄一第1部長、玉山敦第1部班長、菅原善孝第2部部長が参加した。

高総体力ヌー競技で優勝

6月3日に第77回岩手県高校総体のカヌー競技が御所湖広域公園漕艇場で行われ、男子カヤック(500m)シングルで南昌みらい高校(旧不来方高校)の菅原瑠生(るい)さん(新山)が優勝した。瑠生さんはペア部門でも優勝している。

訂正(お詫び)

○みつくら4月15日号の新小学生紹介で佐藤萌愛(めい)さん(野中家)は、菅原萌愛(めい)さんの誤りでした。
○みつくら6月1日お知らせ版以下のとおり訂正します。
〔地域づくり推進委員会〕

消防13分団第1部 板垣雄一 ⇒ 藤原美輝
消防13分団第2部 畠山智明 ⇒ 菅原善孝
大変失礼致しました。

みつくら

令和 7年 6月15日 第436号
発行 大瀬川活性化会議
編集 「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

八区自治公民館でも花植えを行う

第八区自治公民館(熊谷秀夫館長)は、6月7日に大瀬川運動公園東側にある花壇に花植えを行った。2班と3班が担当で、役員が前もって張ったマルチに穴を開け、マリーゴールドやサルビアなど6品種の約600本を約30名で植栽した。昨年は風の影響でマルチが何度も剥がれて花苗が抜けてしまったため、今年はマルチに重しを置いたほか、北側に暴風ネットを設置した。

基盤整備事業権利者説明会を実施

大瀬川地区基盤整備事業推進委員会(菅原教雄委員長)は、6月7日に大瀬川振興センターで事業権利者説明会を行い関係機関を含め95名が参加した。説明会の司会は山王海土地改良区の浦田主幹が行い、岩手県盛岡広域振興局農政部農村整備室の高井澤主任から事業計画の要旨、期間、費用等と今年のスケジュールの説明があった。続いて、予め同封されていた同意書について、同意の方は署名欄に自筆の氏名と同意年月日を記入の上、受付に提出するよう説明があった。また、参加できなかった方については推進委員が回収するとのことであった。同意書の取りまとめが済むと事業施行の適否について8月中旬に通知があり、10月上旬には計画が確定になり、10月下旬には事業採択され、令和7年度には換地業務が実施される予定となっている

第79回となる大瀬川地区民運動会を開催

6月8日、大瀬川体育協会(板垣雄一会長)主催の第79回大瀬川地区民運動会が開催された。前日の午後から体協役員がコースづくりや会場設定を行い、当日は心地よい風が吹く中での開催となった。各区長による国旗、市旗、体協旗の掲揚後、昨年の優勝旗と優勝杯の返還があり、板垣雄一会長から「今年から年齢区分を3つに分けた他に、新しい種目を加えました。年に1回の地域住民が集まる機会ですので短い時間で楽しくして下さい」と挨拶があった。続いて、来賓の石鳥谷スポーツ協会

の畠山勝敏副会長が「今年4月から石鳥谷体育協会が石鳥谷スポーツ協会に名称が変わりました。県もスポーツ協会になり、国体もスポーツ大会になるなど各地区でもスポーツ協会に流れつつあります」と話された。また、大瀬川活性化会議の熊谷秀夫会長は「当地区の一大イベントです。この晴天の中、大いにハッスルしながらケガのないよう楽しんで下さい」と挨拶した。

子供達の選手宣誓、参加者全員での準備体操の後、熊谷京子さんの進行アナウンスで競技に入った。最初は小学生の100m徒競走で7区が4名、8区7名、9区3名が走った。続いて「まがすなよ!!カゴいっぱいボール」では、最後の選出がボールを落とさないようゆっくり泳ぐように歩く姿に笑いが出る場面もあった。次は新種目の「大瀬川ミニ・ロト3」で、円の中にある3色のボールから1個を選び、区長のジャンケン勝ち順で抽選されたボールの色によって配点が決まる種目だった。他に「玉入れ」や「目指せ!ホールインワン」など6競技で得点を競った。「目指せ・・・」では見事ホールインワンを決め、一挙に20点が入る場面もあった。最後は地区対抗混合リレーで各チーム大いに盛り上がり、運動会は午前中で全競技を終えた。

総合優勝は八区で160点、2位は7区151点、3位は九区115点となった。また、混合リレーでは、優勝は八区、2位は九区、3位は7区の結果となった。閉会式では板垣会長から「来年は80回目となりますので、記念に残る大会を考えていきたい」と挨拶があった。

参加者募集のお知らせ

●石鳥谷グラウンドゴルフ大会(石鳥谷町スポーツ協会主催)を7月6日(予備日は13日)に江曾運動広場で行います。参加希望の方は、6月22日までに大瀬川体協の板垣雄一(谷地)45-5339までご連絡下さい。

●第59回の釣り大会を6月29日の朝5時から葛丸川山祇神社付近で開催します。一般(中学生以上)2,000円 ジュニア(小学生以下)1,000円で会員は半額となっており、参加は当日に受付ます。各表彰あり、ふるってご応募下さい。

米騒動と終戦直後の大瀬川

「令和の米騒動」で毎日が騒々しい。政府はさらに古古古米である令和3年産米の備蓄米を放出した。令和の米騒動と言っても終戦直後の米騒動はとて悲慘で比べ物にならない。

昭和24年になっても食糧危機は解消されず、政府は農家に対して供出割当を行い、各行政区に達成を義務づけたとある。大瀬川の古文書の中に「産米供出割当完遂感謝状」なるものを見つけた。貴重な歴史資料でもある。その感謝状文面を紹介したい。「感謝状 第八区部落殿 右は昭和24年度産米供出にあたり其の割当700石2斗を見事に完遂したり。これは一偏に皆様の戮力協心真摯(※りくりょくきょうしんしんし)なる努力と萬難を克服しての倚興(※いこう)したる事甚大なり 依って石鳥谷町施行二十周年記念農民祭の佳き日をとし(※ぼ

くし)茲に(※ここに)感謝状を贈呈し深甚なる感謝の意を表す 昭和二十四年十二月十四日 石鳥谷町長藤原文三」とある。受章した第八区部落とは、当時の第八区行政区長の板垣留蔵さんであった。板垣留蔵さんは、板垣幸寿さんの祖父で谷地家の初代当主であった。

岩手日報余話

このほど、畠山義弘さんから貴重な資料を戴いた。それは、昭和8年11月6日付の岩手日報の投稿欄「鉄兜」に投稿した記事である。これは、大瀬川小学校が焼けた後の復旧時に、石鳥谷町が八日市小学校に大瀬川小学校を統合する案を、八日市と大瀬川で住民説明会を開いた。八日市側は賛成であったが、大瀬川の住民は強く反対していた。その貴重な資料とは、石鳥谷町提案に対する大瀬川の住民からの反対意見であった。その内容は、町当局に対して皮肉を込めた投稿であった。大瀬川の住民はなぜ反対したのか。この投稿記事とは別に、当年の大瀬川区長記録を見ると、統合した場合に、大瀬川からの通学が困難であることが理由であった。

現在と違って、昭和8年当時は馬車の時代で、通学は徒歩であった。当時、八日市小学校も老朽化が進んでいたことから、八重樫寅蔵町長は統合を提案したと思われる。

昭和8年11月6日付け岩手日報「鉄兜」欄には「最近、町内の空気の腐敗方は何と言ふ様でせう。学校の合併問題に関し、見るに聞くに、唾棄に値する者ばかりだ。町長選挙に於いて、無定見な議長振りの結果として、無能無策且つ欲深な破廉恥漢を町長に挙げたのである」と当時の町政を批判している。

結果は、大瀬川小学校は、小屋場から現在の大瀬川振興センターの地に移転して(田屋家から校地を借用)同年の12月に新築している。

訃報

船台家の安部吉則さんは、4月26日に67歳で亡くなりました。安部さんは大迫町内川目の出身で若い頃は、わらべや日洋食品(株)岩手工場(北上市相去町)に長い間勤務されその後は同じ北上市内の金型製造会社に定年まで勤められました。

安部さんで思い出すのは消防団員の班長として活躍されたことでした。大瀬川に来られて間もなく石鳥谷町消防団第2分団第2部に入団後、私たちの脳裏に未だ焼き付いているあの恐ろしかった平成9年の大瀬川山林大火や、平成17年の大瀬川林野火災の消火に尽くされました。定年後には菅原富男さんの杜氏のもとで、静岡県三和酒造に勤務もしました。この間、第7区農家組合長や、石鳥谷広域カントリーエレベーター利用組合運営委員、第7区自主防災会副会長、山祇神社総代、また亡くなるまで大瀬川たるし滝測定保存会理事などで、地区に多くの貢献をなされました。

相撲のテレビ観戦を何よりも楽しみにしていました安部さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。